



3人の共通項である「音楽」をベースに、 3人ならではのアプローチで、何か出来ないだろうか。 そんな思いを形にしたのが「みんなの学校」だ。

食べ物に不自由することもなく、戦争もない。でも、本当の“豊かさ”とは？
想定したのは、古き良き時代・昭和の学校。高度成長時代、額に汗して働く大人たちに見守られながら遊び、学んだ学校は、誰の記憶の中にも特別な思い出として残っているはず。そこで、3人が先生、観客が生徒、というスタイルで、個々の授業を展開。校歌や給食、校内放送、時間割など、懐かしの項目を取り入れながら進行していく音楽エンターテイメント。



「それぞれの分野を生かしたら、色々出来るじゃないですか。僕が担当するのは、国語と道徳。昔からある日本の童謡や唱歌の中からピックアップして、本当の意味は何なのか、どんなメッセージが込められているのか、歌に秘められた日本の文化と心を解き明かしたいと思います」

江原啓之

スピリチュアル・カウンセラー。オペラ歌手。武蔵野音楽大学声楽専攻修了後、関西二期会オペラ「ラ・ボエーム」などに出演。2004年CDデビュー。昨年11月、JPOPアルバム「幸せのみつけかた」をリリースし、代々木第一・大阪城ホールのアリーナツアーも大成功。今年、はじめての全国ライブハウスツアーに挑戦する。

公式サイト: <http://www.ehara-hiroyuki.com/>



「私の授業では、日本人ということを大事にしたいです。例えば、公演日の7月に合わせて、日本で愛されている夏の歌を選んで歌い、“こういう歌い方、響き方もあるんだな”と、新鮮に聴いてもらえたらいいですね」

辛島美登里

鹿児島県出身。国立奈良女子大卒業後、1989年アーティストデビュー。「サイレント・イヴ」「愛すること」など数々の楽曲が大ヒット。デビューから現在までの楽曲を収録した「オールタイムベスト」を8月にリリース。10年間続いたフルオーケストラとのクリスマスコンサートを経て、昨年スタートさせた新しいスタイルのコンサート「WINTER PICTURE BOOK 2010」を12月2日にBunkamuraオーチャードホールで行う。

公式サイト: <http://karashimamidori.com>



「今は、親も子供も忙しくて、一緒に夕飯を食べることもままならないですよ。そんな親子にこそ来場して頂き、音楽やお話を通して、心にあたたかいものを感じ、何か気づいてもらいたいですね。私のコーナーでは、音楽自体の不思議さやハーモニーの魅力についてなども判りやすく解説したいと思います。」

渡辺俊幸

映画、テレビ・ドラマ、アニメーションなどから純音楽まで作曲活動は多岐に渡る。代表作にNHK大河ドラマ「利家とまつ」、「毛利元就」、NHKドラマ「大地の子」、東宝映画「サトラレ」、「解夏」、「UDON」、愛・地球博開会式テーマ曲「愛・未来」などがある。近年ポップスオーケストラの指揮者の活動にも力を注いでいる。洗足学園音楽大学教授。

公式サイト: <http://www.toshiyuki-watanabe.com/>